

第 27 回奈良市子ども・子育て会議 会議録			
開催日時	令和 2 年 2 月 25 日（火）午前 10 時から正午まで		
開催場所	奈良市役所 北棟 2 階 第 16 会議室		
出席者	委員	大方会長、浜田副会長、石井委員、岡田委員、金野委員、亀本委員、國原委員、篠田委員、高尾委員、田畑委員、山下委員 【計 11 人出席】	
	事務局	【子ども未来部】 真銅子ども未来部長、小澤子ども未来部次長、玉置子ども政策課長、田村保育総務課長補佐、米田保育所・幼稚園課長、池田子ども育成課長、東浦子育て相談課主幹 【保健所】 池田母子保健課長補佐 【教育委員会事務局】 岡田教育政策課長 小林地域教育課長 岡本学校教育課長補佐	
開催形態	公開（傍聴人：2 名）	担当課	子ども未来部子ども政策課
議題 又は 案件	1 案件 （1）第二期奈良市子ども・子育て支援事業計画について （2）令和 2 年度の奈良市の教育・保育の提供体制について		
決定又は取り 纏め事項	・第二期奈良市子ども・子育て支援事業計画について原案通り承認された。		
議事の概要及び議題又は案件に対する主な意見等			
1 報告事項 （1）「令和元年度奈良市子ども会議」について報告 <ul style="list-style-type: none"> ・事務局から、「令和元年度奈良市子ども会議」について説明を行った。 ・岡田委員 昨年度の子ども会議は市の意向が強くなっていたので、今回のやり方は良かったのではないかと印象を持っています。できるだけ、提案が実現できる喜びも味わってもらえるようにしてもらいたと思います。 ・金野委員 昨年度の奈良市子ども会議では、公園に関する提案が出されましたが、子どもたちの提案とは違うイベントになっていた。子ども会議の参加者も参加しておらずおかしい印象があった。今年度は出された提案を来年度に実現させる予定ということで素晴らしいと思うし、できるだけこのようなことを続けてもらいたい。 			

(2) 「奈良市幼保再編基本計画及び実施計画の期間延長」について報告

- ・事務局から、「奈良市幼保再編基本計画及び実施計画の期間延長」について、説明を行った。

- ・亀本委員 幼保をまとめることに関しては、不安の声を聴いています。一つは、子どもの保育環境をよくできるのかという質のところ、もう一つは、民間委託について、保育士の確保が公立園でも難しいなかで民間は賃金の問題でも非常に厳しい状況です。丁寧に地域や保護者の方に説明するのはもちろん、質の向上を含めた待機児童解消につながっているのかという検証もあわせてしていく必要があると思います。

2 審議事項

(1) 「第二期奈良市子ども・子育て支援事業計画」について

- ・事務局から、「第二期奈良市子ども・子育て支援事業計画」について説明を行った。

ア) パブリック・コメントの意見内容及び回答案について

- ・岡田委員 地域の中で子どもたちが自由に遊べる場所が非常に少ないんです。パブリック・コメントの回答に、放課後子ども教室のことをあげていただいているのですが、放課後子ども教室も週に1回あるかどうかで、放課後子ども教室があるから足りているという状況ではないというところもあります。また、子どもの安全のことでいいですと、今、なんでもかんでも地域に投げているような状況が市にあるのかなと思います。もちろん地域の力を使っていくというのは大事なことです。市の支援の中でできるようにしないとこの先しんどくなると思います。
- ・金野委員 この計画の中に地域という言葉があるんですが、この言葉が具体的に何を指しているのか見えないと思います。この計画の具体的なかたちで推進計画や施策が示されて、その進捗がわかるようにしてもらえると地域としてもやりがいが出てくると思います。
- ・石井委員 市の取組というのが、なかなか見えないと思います。こういった取組なのかということがもう少し具体的に親近感がわくような広報をされたら良くなるのかなと思いました。また、ニーズと内容がマッチしているのかを確認するためにも、もう少し現場の声とか、実際に利用している子どもさんや保護者の方を対象にリサーチをした方がいいと思いました。
- ・篠田委員 11番では、お父さんたちがなかなか地域やPTAに参加できていませんよというのが意見の趣旨だと思います。企業への研修も都度、行われていると思いますが、それ以上に何か取組をしていくことがまとめられているんだろうなと感じました。
- ・國原委員 13番のところ、0歳児の定員を1歳児に振り代えるなどして、1

～2歳児の受け入れについて建物を建てていくのではなく、工夫して、出来るだけ、今の施設で子どもたちが、そして、保護者が安心して預けられる施設とその受け入れ体制を整えていくことが良いのではないかと思います。

イ) 第二期奈良市子ども・子育て支援事業計画案の変更箇所について

- ・金野委員 コラムページを追加したことについて、目次にも表記したらいいのではないかと思います。
また、来年度以降、計画の評価をしていくときに、各事業の評価目標の一覧を事業内容と共に示してもらえれば評価していきやすいと思います。
- ・山下委員 皆がこの数値を意識してそれぞれの事業を活性化していくことがこの数値目標の意味だと思います。事業者としては、計画の数値目標について、市がどんな意向を持って目標を定めているのか、どういうことを、事業を通じてやってほしいのかをはっきり伝えてもらえたら、分かりやすいと思います。
- ・亀本委員 一番大事なことは市民がどう評価するかということなので、その市民の評価自体を指標化していくことが大事だと思います。計画の中間見直しや最終年度のところでもう一度ニーズ調査をやって意見がプラスになっていたらそれは取組が進んだことになると思うので、第二期計画がスタートするときにはそういう評価軸をもって、ニーズ調査が生きるようなやり方に変えていかないといけないと思います。

(2) 「令和2年度奈良市の教育・保育の提供体制」について

- ・事務局から「令和2年度奈良市の教育・保育の提供体制」について説明した。

(特に意見なし)

資 料	【資料1】：令和元年度奈良市子ども会議について 【資料2】：奈良市幼保再編基本計画及び実施計画の期間再延長について 【資料3】：第二期奈良市子ども・子育て支援事業計画について 【資料4】：令和2年度の奈良市の教育・保育の提供体制について
-----	---